

**ご旅行条件(抜粋)お申し込みの際には別途詳細旅行条件書をお受け取りになり、必ずご確認ください。**

■募集型企画旅行契約：この旅行は、株式会社トラベリオ（以下「当社」という）が企画・実施するもので、お客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。

■旅行契約の申し込み

申し込み金の額(おひとり)	
300,000円以上	50,000円

■旅行契約成立時点：旅行契約は、当社らが契約の締結を承諾し申し込み金または旅行代金（お支払い対象旅行代金）を受理した時に成立します。

■お支払い対象旅行代金：「お支払い対象旅行代金」とは、募集広告価格表示欄に記載された金額（以下「表示代金」という）と後記「追加代金」の合計額から後記「割引代金」を差し引いた金額（以下本旅行条件書内では単に「旅行代金」という）をいいます。またこの「旅行代金」が「申し込み金」「取消料」「変更保証金」のお払いの際の基準となります。

■「表示代金」に含まれるもの（一部例示）以下のものが含まれています。（いずれも募集型企画旅行中または旅行日程として表示されたもの）

①航空運賃②送迎・移動のバス等の代金③観光・視察に係る代金④ホテル宿泊代金⑤食事代金⑥コンタクト同行代金⑦受託手荷物運搬代金

■「表示代金」に含まれないもの（一部例示）

①渡航手続諸経費（旅券・査証取得費用等）②国内の自宅から発着空港等までの交通費や宿泊費等③国内における空港施設使用料④規定の重量・容積・個数の超過による超過手荷物料金⑤クリーニング、電話料、ホテルのボーイ、メイド等へのチップ、その他追加飲食等の個人的諸費用⑥傷害・疾病に関する医療費等⑦国外の空港税・出国税等⑧「オプションツアー」等と併称し現地に他社等が希望者のみを募って実施する小旅行⑨ミサ献金

■追加代金（一部例示）

①お客様の希望により1人（2人）部屋を1人で使用することを保証するための追加代金②1人または奇数人数で参加される際に、他のお客様との相部屋を行わない旨を当社が定めその旨を募集広告に表示したときの1人部屋または2人部屋を1人で使用した際に係る1人部屋追加代金

■旅行代金のお支払い 申し込み時点または旅行契約成立時点以降、旅行開始日前の指定期日（原則として21日前）迄にお支払いいただきます。

●海外安全ホームページ（外務省）<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●海外渡航者のための感染症情報ホームページ（厚生労働省）<http://www.forth.go.jp/>

■旅行開始前のお客様の解除権：お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除できます。なお、下表でいう「旅行契約の解除日」とは、お客様が当社または旅行業法で規定された「受託営業所」のそれぞれの営業日・営業時間内に解除する旨お申し出をいただき、確認したときを基準とします。

表1：日本出国時または、帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約に係る取消料表（貸切航空機を利用するコースを除きます）

旅行契約の解除期日	取消料（おひとり）	
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目にあたる日以降31日目にあたる日まで	旅行代金の10%（最高50,000円まで）	
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降31日目にあたる日まで	30万円以上	50,000円
	15万円以上30万円未満	30,000円
	10万円以上15万円未満	20,000円
10万円未満	旅行代金の20%	
旅行開始日の前々日	旅行代金の40%	
旅行開始日の前日及び当日	旅行代金の50%	
旅行開始後または無連絡不参加	旅行代金の100%	

注：「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

★旅行契約成立後に出発日またはコース変更をされた場合も、上記の取消料の対象となります。

■旅程保証：当社は別途定める契約内容の重要な変更が生じた場合は、旅行代金に一定の率を乗じた変更補償金をお支払いいたします。詳しくは別途交付する詳細旅行条件書でお確かめください。

■特別補償（当社の責任）：当社は約款の特別補償の定めるところにより、お客様が旅行参加中にその生命、身体または手荷物の上に被られた一定の損害について、死亡補償金、入院見舞金（入院日数によります）、通院見舞金（通院日数によります）、携行品にかかわる損害補償金（ただし、1個または一対についての補償限度があります）を支払います。

■旅行条件要旨基準日：この旅行条件要旨の基準日は2019年10月17日です。また、旅行代金は2019年10月17日現在有効なものとして公示されている航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

■その他：旅行開始日に満2才以上12才未満の方は子ども旅行代金が適用されます。

**■旅行企画・実施 株式会社 トラベリオ TRAVELIO**

【お申込・お問い合わせ】株式会社トラベリオ巡礼センター  担当 徳矢貢一 〒104-0061 東京都中央区銀座8-17-5 アイオス銀座501

観光庁長官登録旅行業第2088号/JATA正会員 総合旅行業務取扱管理者：米村道章

 **0120-106-750**  **FAX:03-6264-3406**  <https://travelio.jp/>  [tokuya@travelio.jp](mailto:tokuya@travelio.jp)

【旅行申込書】 年 月 日 【お申し込み締切日】2020年3月11日

参加ツアー名	南ドイツ巡礼 9日間		
出発日	2020年5月11日	出発地	羽田
フリガナ		洗礼名	
氏名		所属教会	
パスポートネーム (ローマ字) ※旅券と同じ綴り	国籍( ) ※日本以外の方		
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日 (西暦 年)	男	女
フリガナ			
現住所	〒	電話番号	( )
メールアドレス			
旅行中の連絡先	氏名(フリガナ)	住所	続柄
		〒	
	電話番号	( )	
1人部屋希望	あり ・ なし	同室希望	お名前

★海外旅行傷害保険に加入されることをおすすめします。

■海外旅行傷害保険についておなががいします。 海外旅行傷害保険に  加入する  加入しない

※加入されない場合は、下記の該当番号に○印をつけ、確認のご署名をお願いします。

1. 他の保険代理店に加入する(保険会社: ) 2. 空港で加入する ご署名

＜個人情報の取扱について＞ 当社は「個人情報の保護に関する法律」並びに「当社個人情報保護方針」に基づき、お客様の個人情報を次のようにお取扱いし、保護に努めております。1) ご旅行の申込等にあたり当社にご提供いただいた個人情報の一部を個人データとして保有しています。2) 当社は旅行申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡の為に利用させていただく他、申込いただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供する旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領の為に必要範囲で利用させていただきます。



ケルン大聖堂(イメージ)

# 南ドイツ巡礼 9日間

2020年5月11日 月 ▶ 5月19日 火

同行司祭

カトリック司祭が同行します

旅行代金

445,000円 ◆一人部屋利用追加料金：82,000円

※空港諸税別途：羽田3,610円 現地14,020円 国際観光旅客税1,000円  
燃油付加税24,200円(目安：2019年10月17日現在)

※発券時点の金額となり変更となる場合があります。

お申し込み締切日 2020年3月11日



# 南ドイツ巡礼 9日間 2020年5月11日(月) ▶ 5月19日(火)

同行司祭 カトリック司祭が同行します

旅行代金 445,000円 ◆一人部屋利用追加料金：82,000円

※空港諸税別途：羽田3,610円 現地14,020円 国際観光旅客税1,000円 燃油付加税24,200円(目安：2019年10月17日現在)  
 ※発券時点の金額となり変更となる場合があります。

お申し込み締切日 2020年3月11日



## ケルン大聖堂

トリーア、マインツとあわせてドイツ三大大聖堂に数えられる。ゴシック様式の建築物として世界最大の姿はケルン中央駅前広場より見ることができ、その大きさに驚愕を覚える。高さ157m、奥行き114m、幅86m、40階のビルに匹敵する。初代教会は4世紀に完成、2代目教会は12世紀後半に東方三博士の聖遺物がおかれたことで多くの巡礼者を集めた。1248年火災での焼失し3代目の建設がはじまったが、16世紀に入って宗教改革を発端とした財政難のため工事が途絶え、本格的に建設が再開したのは19世紀に入ってからであった。

## アーヘン大聖堂



「皇帝の大聖堂」とも呼ばれ北部ヨーロッパでは最古のものである。カール大帝も大聖堂に埋葬され600年間に神聖ローマ帝国の30人の皇帝たちの戴冠式が執り行われた。大聖堂の中心は宮殿教会であり、古典主義的様式、ビザンティン様式、ゲルマン様式、フランク王国様式の要素を備えた心を奪われる建築である。

## シュバイヤー大聖堂



この大聖堂はローマ皇帝コンラート2世が自身の永眠の場所として建造を命じたもので1030年から1061年に建造された。さらに7人の皇帝やその家族などが埋葬された。2回の修復を経ているが本来の様式を良く保存し明確なロマネスク様式を伝える最も優雅な例の一つとなっている。

## マインツ大聖堂

975年起工。主なスタイルはロマネスク様式だが、何世紀にもわたって外観が追加され、今日見られる様々な建築の影響の外観が生じている。この大聖堂はベネディクト修道院に属し、司教や貴族の埋葬地として機能し、地域で最大の教会であった古い大聖堂と聖アルバンの2つの教会の機能を引き継いでいる。



## マウルブロン修道院

ヨーロッパに残る中世のシトー会修道院の中でも付属する建造物群を含めた総体が最もよく保存されている。修道院の設立は1147年、設立に際して初のシトー会派教皇エウゲニウス3世の後援を受けた。

## ペーベンハウゼン修道院



静かな渓谷にあるペーベンハウゼン修道院は、ドイツ南部で最も保存状態の良いシトー会修道院の一つ。テュービンゲンのパラティーノ伯爵ルドルフによって1180年から1183年にかけて設立された修道院は、数年後にシトー修道会に引き継がれ、この地域で最も裕福な修道院の一つに発展した。



## ザンクトガレン修道院

スイス二大修道院の一つで聖コロンバスの弟子聖ガルスが613年に設立したものが母体となり、中世以来の歴史を誇る修道院。現在の建物は18世紀に建造されたもので中世の面影はないが、バロック建築の傑作として評価されている。またベネディクト会の中心的修道院であった付属図書館には数多くの写本や稀覯書が収蔵されている。

## ダッハウカルメル会修道院



1964年に元強制収容所の敷地に隣接して創立された。創立者であるマリア・テレジア院長の意図はかつての残虐行為の地を修道女たちの共同生活と祈りの場とし、まさにここに生きる希望のしるしを打ち立てようということであった。観想修道会として、共同体の生活は静けさと沈黙の雰囲気にも包まれていて、厳しい規律のなかで祈りの生活を送っている。

## アルトエッティング



ローマ帝国がこの地から撤退した後、バイエルンの部族による統治が行われた。9世紀になると教会や修道院が築かれ、地域の宗教的中心地になった。15世紀には巡礼地の一つとして賑わいを見せた。

## ミュンヘン聖母教会



個性的な2本の塔を持つ後期ゴシック様式のミュンヘンのシンボリックな教会。聖母教会のあるフラウン広場は市の中心部に位置する。それまでマリア礼拝堂があった場所に1468年に建設が始まり20年をかけて完成した。その後ルネサンス様式の円蓋が加えられた。玉ねぎ型の円蓋を持つ2本の塔は北塔99m、南塔は100mでエレベーターで登ることができる。

## 南ドイツ巡礼 9日間 日程表

	日付	都市名	交通機関	時間	行程	食事
1	5月11日(月)	羽田発 ミュンヘン着 ミュンヘン発 デュッセルドルフ着 ケルン	LH-715 LH-2734 専用バス	12:35 17:35 18:30 19:40	ルフトハンザ航空にてミュンヘン経由デュッセルドルフへ  着後、ケルンへ  (ケルン近郊 泊)	昼：機内 夕：機内
2	5月12日(火)	ケルン アーヘン	専用バス (75km/1時間)	午前 午後	世界最大のゴシック建築、ケルン大聖堂 <b>聖ペトロ教会にてミサ</b> オランダと国境を接するドイツ西部の街アーヘンへ 北ヨーロッパ最古、ドイツ最初の世界遺産アーヘン大聖堂巡礼 (アーヘン 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：○
3	5月13日(水)	アーヘン マインツ ミルテンベルク ハイデルベルク	専用バス (252km/2.5時間) (107km/1.5時間) (77km/1時間)	終日	マインツへ移動 ドイツ3大聖堂、 <b>マインツ大聖堂にてミサ</b> メイン川の真珠・ミルテンベルク散策 その後、ハイデルベルクへ 夕食後、市内散策 (ハイデルベルク 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：○
4	5月14日(木)	ハイデルベルク シュバイヤー マウルブロン修道院 カルフ プフォルツハイム	専用バス (95km/1.5時間) (66km/55分) (51km/45分) (33km/30分)	終日	世界最大級のロマネスク様式、シュバイヤー皇帝大聖堂 <b>市内教会にてミサ</b> 中世のシトー会・マウルブロン修道院巡礼 ヘルマン・ハッセの故郷カルフへ (プフォルツハイム 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：○
5	5月15日(金)	プフォルツハイム ペーベンハウゼン コンスタンツ	専用バス (60km/1時間) (160km/2.5時間)	終日	<b>市内教会にてミサ</b> 修道院の村、ペーベンハウゼンへ ペーベンハウゼン修道院見学 黒い森の村々、フロイデンシュタットやハスラッハを通りボーデン湖の畔、 コンスタンツへ (コンスタンツ近郊 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：○
6	5月16日(土)	コンスタンツ ザンクトガレン ブレゲンツ ミュンヘン	専用バス (70km/1.5時間) (35km/40分) (184km/3時間)	終日	ボーデン湖沿いの巡礼地を経てミュンヘンへ 中世前期修道院で栄えたライヒェナウ島～会議で有名なコンスタンツ～ <b>スイス2大修道院のザンクトガレン修道院にてミサ</b> ～聖コロンバヌスが滞在した ブレゲンツ (ミュンヘン 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：○
7	5月17日(日)	ミュンヘン ダッハウ アルトエッティング ミュンヘン	専用バス (20km/45分) (110km/1.5時間) (94km/1.5時間)	午前 午後	旧ダッハウ収容所内カルメル会修道院 <b>修道院内にてミサ</b> 南ドイツ最大の巡礼地アルトエッティング巡礼 (ミュンヘン 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：○
8	5月18日(月)	ミュンヘン ミュンヘン発	専用バス LH-714	午前 16:15	ミュンヘン市内見学 <b>聖母教会にてミサ</b> アルトシュタット(旧市街)～アリエン広場など ルフトハンザ直行便にて帰国の途へ (機中 泊)	朝：○ 昼：○ 夕：機内
9	5月19日(火)	羽田着		10:50	無事到着後、解散	朝：機内

【募集人員】20名様(最少催行人員20名様)

※現地受入側の都合で、見学順序・ミサの場所が変更となる場合があります。

【利用予定航空会社】ルフトハンザ航空 ▶ 添乗員が同行します

【利用ホテル】4つ星クラス

★画像は全てイメージです。